

はじめに

昨年度、新型コロナウイルス感染症の扱いが2類から5類となり、学校行事や授業等が制限なくできるようになりました。学校には、こどもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。コロナ禍を通して、対面で関わり合うよさや学校が果たす役割の大きさを再認識しました。この経験を生かし、こども同士や地域の方々とのふれあいを大切にしながら、「時代を切り拓くこども」の育成を進めてまいります。

今後、社会は急速に変化し、ますます多様化・複雑化していくことが想定されます。これからの時代を生き抜いていけるよう、こどもたち同士の学び合いをはじめとした他者と協働した探究的な活動を通して、よりよい成長を支える学校づくりを目指してまいります。ご理解とご協力をお願いします。

令和6年4月1日

日直

教育委員会だより

部活動地域移行について

令和4年6月6日にスポーツ庁より、また令和4年8月9日に文化庁より部活動の地域移行に関する検討会議提言が出されました。その中で学校部活動の課題として、深刻な少子化の進行による持続可能性という面での厳しさや教師にとって大きな業務負担であることなどがあげられていきます。

小牧市では、少子化の中でも将来にわたりこどもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会の確保などを目指すため、令和4年度に小中学校部活動検討委員会を立ち上げ、学校部活動の在り方や、部活動の地域移行に伴う検討を行っています。令和5年度は小牧中、桃陵中をモデル校とし、「拠点校部活動」を取り入れるなど地域連携のあり方を模索しました。

令和6年度以降も小中学校部活動検討委員会にて成果や課題を洗い出すとともに、モデル校を順次拡大していく予定です。

学校給食費の無償化に取り組みました

多子世帯の子育てに対する経済負担を軽減するため、市費にて令和4年9月からの第3子以降小中学生給食費無償化の実施に加え、令和5年9月から対象者を第2子中学生に拡大いたしました。

また、長らく続く物価高騰による影響を受けた子育て世帯を支援するため、国の地方創生臨時交付金を活用し、昨年度3学期の小中学校全児童生徒の学校給食費を無償化しました。

有機野菜を使用した給食を初めて実施しました

全国的に、学校給食に有機米や有機野菜を使う「オーガニック給食」に対する関心が高まっていることから、本市においても初めての試みとして、令和5年9月14日(木)の給食で有機にんじんを使った「有機にんじんシリシリ」を提供しました。



有機野菜を学校給食に使用することで、化学肥料や化学農薬を使わず自然の恵みを活かして栽培された、人にも環境にもやさしい有機食材を通じた食育を行うとともに、児童生徒がSDGsや環境について考えるきっかけとなりました。

北海道八雲町との児童学習交流を実施しました!

市内の小学校5・6年生を対象に北海道八雲町との学習交流を行っています。この交流は、明治の初め、小牧に住む人々が故郷を離れ、北海道八雲町の地を開拓したことを記念して始まったものです。

近年はコロナ禍により実施の中止が続いておりましたが、令和5年度に再開し、38回目を迎えました。8月上旬に小牧市の小学生24名が八雲町を、1月上旬に八雲町の中学生6名が小牧市を訪問し、学習活動を通してお互いの故郷を学びながら、交流を深めました。

今年度も参加者の募集を行います。募集の詳細は市ホームページに掲載いたしますので、ぜひご応募ください。



新たな学校づくり推進計画策定の検討を進めています

小牧市では、近年、児童生徒数の減少が進んでおり、近い将来「1学年1学級」の学校が増える見込みです。あわせて、学校施設の老朽化も進んでいる状況です。これらの課題がある中で、小牧市における学校の適正規模・適正配置やこどもたちにとってより望ましい教育環境の基本的な考え方を整理した計画、「小牧市新たな学校づくり推進計画」を策定するための検討を開始しました。

令和6年9月頃の策定を目指し検討を進めており、令和5年度は、アンケートを実施し、中学生、保護者、現場の教職員の方々から新しい学校づくりに関してのご意見をいただきました。アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

今後とも引き続き、本市の学校教育の現状と課題に向き合い、計画の策定を進めてまいります。

復元が進む織田信長が築いた城【小牧山城】



史跡小牧山の山頂部では、発掘調査の成果に基づき、令和3年度から令和7年度までの予定で、織田信長が築いた石垣などの復元整備工事を行っています。

令和5年度は歴史館の南側部分で、切り立てた岩盤の上に築かれた石垣や大手道の一部などを復元しました。

一流アーティストが学校へ!

こまき市民文化財団と教育委員会が協力し、こどもたちが一流のアーティストと直接交流できる機会である、アウトリーチ事業を実施しています。令和5年度は、小学校で落語を4校、音楽（邦楽）を1校で実施しました。初めてアウトリーチ事業を実施した桃ヶ丘小学校で落語のアウトリーチ事業を体験したこどもからは「落語は見た人の想像で見るということを学びました。」との声、見学した先生からは「外国のあまり日本語がわからない児童でも、笑って聞いていました。後から聞いたら、『楽しかったよ』と聞いていました。落語の面白さが、伝わったようです。」という言葉が聞かれました。

令和6年度も引き続きアウトリーチ事業を実施し、多くのこどもたちが文化・芸術に触れる喜びを感じることができるよう、努めてまいります。



●通学路の安全対策

登下校中の児童生徒を交通事故から守るため、引き続き通学路標識の設置や、通学路にみどり色のカラー塗装を行うなど、こどもたちが安心して通学できる環境整備に努めていきます。

また、「小牧市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者や警察、学校と教育委員会が連携し、通学路における交通安全の確保に向けた取り組みを推進します。

●通学路パトロールボランティアにご理解とご協力を

現在、保護者や地域の方々を始めとする約630名のボランティアに、児童の登下校時刻を中心に通学路のパトロールや児童の見守りをしていただいております。この活動にご協力いただける方は、最寄りの小学校へ是非お問合せください。

今後とも児童生徒の安全確保にご協力をお願いいたします。



キミと一緒に、育ってきたい。
Komaki

■発行/小牧市教育委員会

〒485-8650 小牧市堀の内三丁目1番地

■編集/教育総務課

TEL:0568-76-1164 FAX:0568-75-8283

Email アドレス:kysoumu@city.komaki.lg.jp